

大野庄用水を訪ねて

大野庄用水は、金沢市の中心部を流れる、今から約400年前の藩政時代に築造された金沢市で最も古い歴史と伝統のある用水路です。

取水口は、犀川右岸桜橋上流にあり、延長約10kmで、長町、長土堀を經由して金沢市西部、金石地区などの農地に農業用水として恵みを与えています。

周囲には武家屋敷等の史跡や観光施設が多数あり、多くの観光客が訪れています。武家屋敷内の池にも大野庄用水の水が取り入れられているのが見受けられます。周辺の歴史的な景観との調和に配慮し、用水路の景観を保全するため、既設の石積み（石材）を利用しています。

また、コンクリート護岸の箇所は、石積みを模した形状のブロックを使用し、周囲の景観との調和に配慮したものとなっています。





藩政時代に農業用水として築造された大野庄用水



武家屋敷跡を悠然と流れる大野庄用水



土塀沿いに市街地を力強く貫流する大野庄用水



大野庄用水から引き込まれた水をたたえる武家屋敷庭園の曲水